



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社スノーピーク 上場取引所 東
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長執行役員 (氏名) 山井 太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 金子 聡 (TEL) 03-6805-7738
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	13,140	△16.3	498	△80.5	798	△69.1	480	△72.0
2022年12月期第2四半期	15,696	34.5	2,559	58.6	2,585	50.9	1,712	51.4

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,908百万円(△7.4%) 2022年12月期第2四半期 2,060百万円(28.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	12.69	—
2022年12月期第2四半期	45.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	33,820	16,808	48.8
2022年12月期	30,733	15,257	48.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 16,506百万円 2022年12月期 15,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年12月期	—	0.00			
2023年12月期(予想)			—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,850	△9.5	1,091	△70.3	1,375	△61.9	615	△68.4	16.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	38,140,000株	2022年12月期	38,140,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	272,455株	2022年12月期	331,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	37,837,556株	2022年12月期 2 Q	37,871,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年6月30日)における我が国の経済活動は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月より5類に引き下げられたことにより、ショッピング等の外出や旅行・出張等での人々の移動が活発になり、コロナ前の状態に向けて、回復しつつあります。世界経済においては、ロシアによるウクライナ侵攻が継続していることや、米国における金融機関の破綻や、また世界的な金融引き締めがあるなど、不透明な状況が続いています。

当社グループが属するアウトドア業界につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことに伴い、昨年夏ごろから傾向が変わってきており、今年のゴールデンウィークについても、同様の傾向が継続していると認識しております。しかしながら、当社の直営店における来店客数は前年同期比増加しており、また、新規会員数も前年同期比増加しているなど、当社ブランドに対する認知の高さ・需要の高さは、変わらないと認識しております。一方で、スポーツ量販店などの卸売先においては、アウトドア関連商材の在庫が多くあり、その在庫消化に向けた動きが継続しております。

このような環境下において、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は主に国内卸売チャネルでの納品が進まなかったことにより前年同期比減収、営業利益は販管費を予算より削減したものの売上減少の影響が大きく前年同期比減益となりました。詳細は、以下の通りです。

売上高 13,140百万円(前年同期比16.3%減)
営業利益 498百万円(前年同期比80.5%減)
経常利益 798百万円(前年同期比69.1%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益 480百万円(前年同期比72.0%減)

国内での事業においては、直営店においては、当第2四半期においても、引き続き、来店客数は増加しており、売上も堅調に推移しております。また、6月に開催いたしました雪峰祭では、多くのお客様にご来店を頂きました。一方で、卸売におきましては、昨年仕入れた他社ブランドの在庫が引き続き過大な状況であり、結果として、当社商品の納入(セルイン)が進まず、売上は前年同月を下回る状況が、続いております。

海外での事業については、新型コロナウイルスの収束によるアウトドア・キャンプ以外の旅行などの多様なレジャー需要が増加していること、資源価格や金利上昇によるインフレが進展し景気悪化懸念が根底にあることなどから、全地域において前年同期比減少しております。

地域別の状況について、下記記載させていただきます。

韓国については、コロナ下での急激な成長からは過熱感の落ち着きが見られ始めております。商品別では、アパレルについては前年同期比売上の増加が確認されるも、全体としては、前年同期比減少しております。台湾についても、韓国同様、コロナ下での急激な成長は落ち着きを示しており、また、前年の実績が高いことから、売上については、前年同期比減少となっております。中国については、昨年設立した合弁会社を中心に、韓国からのECアカウント移管終了や、北京等でのS I S出店など、ビジネスは徐々に動き出しております。今後は、直営店・直営キャンプフィールドの開設などを通じて、よりブランド認知を高めて参ります。米国については、インフレ進行や西海岸における金融機関破綻などの影響を受け、主要卸売先での在庫調整が続いており、売上は前年同期比減少しております。しかしながら、米国では、アウトドアは非常に人気があり、その市場は極めて大きいことから、今年度下半期に開設予定の直営キャンプフィールドの準備を進めながら、米国における卸売先の新規開拓など販路拡大施策を進めて参ります。英国については、インフレや金利上昇による景気後退懸念が米国同様にあります。英国のみならずEU圏内での新規取引先の拡大を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3,086百万円増加し、33,820百万円となりました。流動資産は、商品及び製品の増加3,342百万円等があった一方で、現金及び預金の減少724百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,160百万円等により前連結会計年度末に比べ1,430百万円増加し、18,099百万円となり、固定資産は、Snow Peak USA, Inc. のキャンプ場「Snow Peak Campfield Long Beach」建設等による建設仮勘定の増加608百万円、投資有価証券の時価評価による増加997百万円等により前連結会計年度末に比べ1,656百万円増加し、15,721百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,535百万円増加し、17,012百万円となりました。流動負債は、短期借入金の増加2,200百万円等があった一方で、未払法人税等の減少119百万円等により前連結会計年度末に比べ2,149百万円増加し11,298百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少408百万円、契約負債の減少173百万円等により、前連結会計年度末に比べ614百万円減少し、5,713百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加480百万円、その他有価証券評価差額金の増加694百万円、為替換算調整勘定の増加429百万円、繰延ヘッジ損益の増加257百万円等があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少453百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,551百万円増加し、16,808百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は4,643百万円となり、前年同期末より390百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、804百万円(前年同期間に比べ124百万円の増加)となりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上794百万円(同1,751百万円の減少)、売上債権及び契約資産の減少1,214百万円(同2,461百万円の減少)、減価償却費の計上596百万円(同68百万円の増加)、仕入債務の増加232百万円(同330百万円の減少)、その他の増加73百万円(同439百万円の増加)があった一方で、棚卸資産の増加3,129百万円(同918百万円の増加)、法人税等の支払額470百万円(同562百万円の減少)があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,420百万円(同212百万円の増加)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,114百万円(同267百万円の減少)、無形固定資産の取得による支出210百万円(同42百万円の増加)、敷金及び保証金の差入による支出74百万円(同39百万円の減少)があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、1,245百万円(同1,478百万円の減少)となりました。これは、短期借入金の増加2,200百万円(同1,600百万円の減少)があった一方で、長期借入金の返済による支出408百万円(同228百万円の増加)、配当金の支払額452百万円(同75百万円の増加)があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日発表の「2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,372	4,647
受取手形、売掛金及び契約資産	3,632	2,472
商品及び製品	6,057	9,400
仕掛品	225	273
原材料及び貯蔵品	270	269
その他	1,121	1,043
貸倒引当金	△10	△7
流動資産合計	16,669	18,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,561	6,706
土地	1,345	1,359
建設仮勘定	1,088	1,697
使用権資産(純額)	990	986
その他(純額)	763	912
有形固定資産合計	10,749	11,661
無形固定資産		
ソフトウェア	470	533
のれん	50	25
その他	45	86
無形固定資産合計	565	645
投資その他の資産		
投資有価証券	1,136	2,134
繰延税金資産	600	223
その他	1,011	1,055
投資その他の資産合計	2,749	3,413
固定資産合計	14,064	15,721
資産合計	30,733	33,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	737	757
短期借入金	5,298	7,498
1年内返済予定の長期借入金	816	816
契約負債	88	188
リース債務	182	206
資産除去債務	79	58
未払金	958	1,041
未払法人税等	511	391
賞与引当金	67	74
役員業績連動報酬引当金	50	19
従業員業績連動報酬引当金	47	18
その他	312	226
流動負債合計	9,149	11,298
固定負債		
長期借入金	3,060	2,652
リース債務	888	883
退職給付に係る負債	107	126
契約負債	1,275	1,101
資産除去債務	330	313
役員退職慰労引当金	77	88
長期未払金	377	377
繰延税金負債	148	106
その他	61	62
固定負債合計	6,327	5,713
負債合計	15,476	17,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,779	2,779
資本剰余金	5,133	5,133
利益剰余金	6,683	6,708
自己株式	△533	△436
株主資本合計	14,062	14,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	359	1,054
繰延ヘッジ損益	△13	243
為替換算調整勘定	593	1,022
その他の包括利益累計額合計	939	2,320
非支配株主持分	255	302
純資産合計	15,257	16,808
負債純資産合計	30,733	33,820

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	15,696	13,140
売上原価	6,892	5,766
売上総利益	8,803	7,373
販売費及び一般管理費	6,244	6,874
営業利益	2,559	498
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	24	39
為替差益	—	262
その他	36	25
営業外収益合計	60	328
営業外費用		
支払利息	10	15
債権売却損	4	3
シンジケートローン手数料	3	3
為替差損	15	—
持分法による投資損失	0	1
その他	0	4
営業外費用合計	34	28
経常利益	2,585	798
特別利益		
固定資産売却益	0	—
資産除去債務戻入益	—	27
特別利益合計	0	27
特別損失		
減損損失	37	32
固定資産売却損	3	0
特別損失合計	40	32
税金等調整前四半期純利益	2,545	794
法人税、住民税及び事業税	876	350
法人税等調整額	△40	△81
法人税等還付税額	△0	△1
法人税等合計	835	267
四半期純利益	1,710	527
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,712	480

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,710	527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	694
繰延ヘッジ損益	—	257
為替換算調整勘定	545	429
その他の包括利益合計	350	1,381
四半期包括利益	2,060	1,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,063	1,861
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	46

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,545	794
減価償却費	527	596
のれん償却額	25	25
賞与引当金の増減額(△は減少)	32	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11	7
役員業績連動報酬引当金の増減額(△は減少)	36	15
従業員業績連動報酬引当金の増減額(△は減少)	31	22
契約負債の増減額(△は減少)	106	△80
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	15
受取利息及び受取配当金	△0	△4
支払利息	10	15
為替差損益(△は益)	△4	△128
受取保険金	△10	△1
持分法による投資損益(△は益)	0	1
補助金収入	△24	△39
資産除去債務戻入益	—	△27
減損損失	37	32
固定資産除却損	3	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,247	1,214
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,211	△3,129
仕入債務の増減額(△は減少)	562	232
その他	△366	73
小計	90	△365
利息及び配当金の受取額	0	4
利息の支払額	△10	△15
補助金の受取額	24	39
保険金の受取額	—	1
法人税等の支払額	△1,032	△470
法人税等の還付額	0	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△928	△804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,382	△1,114
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△168	△210
貸付けによる支出	△3	△9
貸付金の回収による収入	2	2
定期預金の増減額(△は増加)	△3	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△114	△74
敷金及び保証金の回収による収入	0	23
その他	36	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,632	△1,420

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,800	2,200
長期借入金の返済による支出	△180	△408
リース債務の返済による支出	△86	△93
自己株式の取得による支出	△431	△0
配当金の支払額	△377	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,723	1,245
現金及び現金同等物に係る換算差額	275	254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	438	△724
現金及び現金同等物の期首残高	3,814	5,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,252	4,643

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業を単一の報告セグメントとしております。その他については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社グループはアウトドアライフスタイル事業という単一の報告セグメントであり、顧客との契約から生じる収益の内訳は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
ギア	13,107百万円	10,393百万円
アパレル	1,424	1,688
その他	1,164	1,057
顧客との契約から生じる収益	15,696	13,140
外部顧客への売上高	15,696	13,140

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度末より、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。